

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2020 年 4 月分)

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い開催を中止し、審議員による書類審議を実施。

[審 議 員] 青木真弥、音好宏、高寺成紀、富澤一誠、村上典吏子、湯浅正敏

(以上 50 音順、敬称略)

審 議 事 項 : [審議番組] 列車で旅する歌謡曲～TRAIN and RAILWAY MUSIC

<番組概要>

好評 CAR and DRIVE MUSIC シリーズの鉄道版が新登場。様々な地域のローカル鉄道に車載カメラを搭載し、ファンが最も喜ぶ「前面&車窓映像」をメインに収録していきます。昭和を彩ったご当地歌謡曲を BGM にした誰もが楽しめる鉄道×音楽番組です。

さらに鉄道ファンも歓喜する列車の走行音、駅の発車メロディ、車内やホームのアナウンス等々も副音声に収録。誰もが楽しめる上質のコンテンツ、ご期待ください。

審 議 内 容 : ■審議員意見

- ・黒部峡谷鉄道の車窓から見る風景はそれだけでも感動的だが、そこに名曲が流れてくることで、あたかも実際に音楽を聴きながら汽車に乗っているかのような疑似体験が出来て素晴らしい。名曲も車窓に流れる風景と共に聴くと、いつもとは違う新しい魅力が引き出されるようで、まさに“企画賞”物のアイデアであるといえる。
- ・美しい車窓映像をメインに、余分なナレーションを廃しひたすら音楽と車内の音で構成するというシンプルながら丁寧な作り方で、鉄道ファン及び歌謡曲ファンが十分楽しめる内容だと思う。ただ、途中の駅が路線図のどの辺りなのか、それぞれの楽曲が何年に作られたのかなど、あと少し説明があればより深く楽しめたのではないかな。
- ・選曲は視聴者世代に馴染みのある音楽で良かったと思うが、富山県ゆかりの楽曲と謳っているものの、それぞれの楽曲と富山県にどのような関わりがあるのか分からなかったため、曲と曲の間に短い紹介ナレーションを加えても良かったと思う。
- ・主音声は歌謡曲、副音声は列車に乗車すると聞こえる生音というのは二倍楽しめて良かったが、秋の黒部峡谷鉄道に合う選曲だったかど

うかは評価・意見の分かれるところだと思うので、例えば同じ車窓映像で全く楽曲を変えたバージョンの聴き比べもしてみたい。

- 此度のコロナ禍を意識して制作された番組ではないが、行動変容・外出自粛を余儀なくされ旅をすることもままならない今こそ、このような番組が癒しの場として求められるのではないか。駅の風景やそこに乗降する人々なども入れ込んでもう少し絵に変化を持たせると、より旅情が深まって楽しめると思う。
- 車窓から外の風景を眺める際にマッチした曲を集めるという新規性のある企画で、鉄道ファンでなくても十分楽しめる一般性もあり、ファンにとっては鉄道の映像や音をコレクションして楽しむ再現性も高い。今後もこのようなヒットの要素を取り入れた新たな企画の発案を期待したい。

連絡事項： 次回番組審議会は、2020年7月16日（木）11：00開催予定。

以上